

東神楽町オンデマンド交通実証にかかる支援業務委託仕様書

1 業務名

東神楽町オンデマンド交通実証にかかる支援業務

2 業務の目的

本業務は、東神楽町が実施する「交通空白」解消緊急対策事業に基づき、オンデマンド交通（公共ライドシェア）の導入に向けた実証実験を対象とした支援業務である。

新型コロナウイルス禍以降の観光需要回復に伴い、町内を走るタクシーの確保が困難となり、買い物や通院といった日常的な移動に支障をきたすケースが増加している。また、町民アンケートにおいては「バスの本数が少ない」「目的地に直行できない」といった不満の声が多く、特に医療機関や商業施設のない農村部では移動困難が顕著である。町営バスも年々利用者が減少しており、従来の定時定路線型交通では需要とのミスマッチが深刻化している。

こうした背景のもと、町ではAIを活用したオンデマンド交通システムの導入により、スマートフォンやWebを通じた簡便な予約と、AIによる最適な配車ルートの自動生成を目指している。本業務はその実証導入にあたって、地域課題の整理、運行設計、利用実績の検証、住民アンケートによる分析などを通じて、東神楽町における今後の公共交通の在り方を提案・提示するものである。

なお、ICTを活用した配車システムの開発・構築は別途委託する「東神楽町 AI オンデマンド交通システム導入業務」で実施されるが、その設計内容は本支援業務で策定する運行仕様等に基づくものとするため、両業務は相互に密接に連携する必要がある。

3 履行期間

契約締結日 ～ 令和8年2月28日

※実証期間：令和7年10月1日～令和8年1月31日

4 業務内容

1) オンデマンド交通の実証に関する支援

東神楽町が国交省事業を活用して実施するオンデマンド交通に関して、デマンド運行実証実験の導入・運用可否を多角的に検証し、東神楽町における最適な公共交通手段の方向性を示すために以下の業務支援を行うこと。また、その前提として「第9次東神楽町総合計画」の内容を理解し、東神楽町が実現したい交通まちづくりを把握したうえで、業務支援を行うこと。

① 基礎データ収集・設計

(ア) 町が考える実証内容について地域交通事業者および関係団体の意向ヒアリング

調査

(イ)町の過去のデータなどから実証する交通モードがどの程度利用されるのかシミュレーションの実施

(ウ)実証運行のルートや日程の設計支援

② 運行データや利用データの分析・検証

(ア)運行データの整理・統計解析・クロス分析（効率性・採算性の指標化）

(イ)住民アンケート実施支援（アンケート設計、分析。アンケートの配布・回収・集計は役場が実施。）および分析（クロス分析含む）

③ 提言・報告

(ア)中間報告書作成（進捗・初期分析結果）

(イ)最終報告書作成（総合分析・提言）

5. 成果物

次の内容を電子データで成果物として提出する。

「4. 業務内容 (1) の③ 提言・報告における中間報告書及び最終報告書」

なお報告書は、発注者が編集可能な形式で作成する。

6. その他

- ・ 本業務にかかわる打合せやヒアリングは、オンラインでの実施も可とする。
- ・ 本仕様書に定めのない事項については、東神楽町と受託者が協議により決定する。